

懐かしく 新しい未来へ 還ろう 美作国建国 1300年!



マスコットキャラクター
かたみくん

平成25年は美作国誕生1300年という節目の年です。

初代美作守の上毛野
堅身(かみつけぬ かたみ)

美作国(みまさかのくに)は、かつて日本の地方行政区分だった国の一つで、現在の岡山県の東北部にあたります。

「続日本記(しよくにほんぎ)」によると、美作国は、和銅六年(713年)百済王南典(くだらのこにきし なんてん)と上毛野堅身(かみつけぬ かたみ)の提案により、備前より分離して設立。初代美作守は上毛野堅身が就任しました。この地は古代から安定勢力が出現せず、南北朝時代の動乱から戦国時代まで、山名氏、赤松氏、尼子氏、浦上氏、毛利氏、宇喜多氏など周辺の大勢力の争いの場になって、常にその中に巻き込まれてきました。(津山市HP参照)

美作国のちょこっと聞き耳

- 小ネタ1 陶棺は全国の7割が岡山県から出土し、その7割が、備前と美作の吉井川の両岸から発見されています。
- 小ネタ2 一般的に、大名は一国～数ヶ国を領するが、美作国では一郡以下を領する大名が多いことが特徴です。
- 小ネタ3 中山神社の鳥居は、「中山鳥居」と呼ばれ貫が貫通していない珍しい様式が特徴で有名です。「一遍上人絵伝」には、一遍上人が美作一宮(中山神社)に詣でた様子が描かれています。
- 小ネタ4 美作国分寺は、吉井川近くの台地上に所在する古代寺院で、遺構の残存状況は良好です。出土した瓦から中央との強い関係が想定され、政治情勢を示す上でも重要です。